

## 令和7年度 第3回 浜松市立高等学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月5日（木） 14時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立高等学校 大会議室及び講堂
- 3 出席委員 須賀淳子委員、杉浦友治委員、金田知久委員、林左和子委員、  
富室俊和委員、小栗豊人委員（計6名）
- 4 学 校 宮崎（校長）、河田（副校長）、刑部（教頭）、夏目（事務長）  
池谷則（浜松市教委）、飯田（教務課長）、蔵原（生徒課長）、岡本（進路課長）
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議記録

### (1) 校長挨拶

本年度の「浜松市への政策提言」については、例年、本校の講堂で発表会を1回で行っているが、2回に分けて実施する。本日見学していただくのが、その2回目（後半部分）である。発表会は、じっくり時間をかけて、指導講評もいただきながら行い、充実した発表となるように変更した。また、生徒の興味関心に応じてテーマを選び、関連の市役所各課からレクチャーをしてもらったり、中間発表時にアドバイスをもらったりしている。生徒は限られた時間の中でよくまとめている。

その他の活動については、先日、大学入学共通テストが行われ、その後、3年生は国公立大学二次試験等に向けて追い込みをしている最中である。部活動については、陸上競技部が3年連続4回目の都大路に挑戦権を得て、歴代最高の記録でゴールした。校技であるテニスでは、新人戦東海大会で男女ともに6位になり、男子は全国大会を3月に控えている。なぎなたも選手権大会で全国大会に出場する。吹奏楽及び放送部が来年度の高文祭への出場権を得た。

郊外走は感染症の影響で中止となったが、これに向けて生徒はよく練習し、職員も企画や準備を念入りに行ってきた。

### (2) 学校の近況報告

#### ア 教務課より

生徒は落ち着いて学業に取り組んでいる。本年は、学級閉鎖3件（12月に3年生1クラス、先月1年生1クラス、今月2年生1クラス）が閉鎖した。感染症対策は引き続き行っていく。総合的な探究の時間について、手元の資料は3年間の探究活動を図式化したものである。本日の政策提言はこの大きな柱の1つ。これに向けて1年生から、いろいろな活動を行っている。3年生になると進路に大きく舵を切る。

#### イ 生徒課より

部活動の状況について、本年度の全国大会での活躍についてまとめた（資料参照）。本年度は、現在の時点で、文化部6つ及び運動部5つが全国大会へ出場している。また、全運動部が県大会に進出した。非常に頑張っている。部活動加入について、文科

省や県教育委員会からの通知があり、任意加入に切り替えていく。変更後も生徒たちは頑張ってくれると思われる。

交通について、本年度は11件の事故が起き、昨年よりも増加した。しかしながら、母数から見ると、抑えられているほうである。というものの、交通安全については引き続き呼びかけていきたい。交通苦情も減少傾向にある。来年度からヘルメットの所持を義務づけていく。ルール遵守、マナー向上への働きかけを引き続き行っていく。

#### ウ 進路課より

進路概況について（資料参照）、生徒たちが前向きに学習に取り組み、互いによい影響を与えながら頑張っている。現在は、国公立大学の二次対策に向けて挑戦を続けている。

### (3) 研究協議

#### ア 保護者による学校評価

4択の中で肯定的な回答の割合が高かったのは、「課題の量が適切（95.5%）」、「保護者として子供の学校生活に満足している（91.9%）」などでした。低かったのは、「学校、学年、学級だよりなどを通じて学校の様子がわかる（60.8%）」であった。

#### イ 生徒による学校評価

肯定的な回答の割合が95%以上だったのが、「学校生活に満足している」、「授業開始時間守られている」「挨拶や言葉遣いはしっかりできている」「校内をきれいに保とうと心掛けている」「頭髪や服装はきちんとしている」「宿題の量は適切である」でした。

低かったのは、「進路ダイアリーや進路資料を活用している（70.0%）」、「模擬試験受験後に復習している（71.2%）」、「図書室の蔵書は充実している（79.8%）」でした。生徒アンケートでは、昨年度よりもほとんどの項目で肯定的な回答が増えている。

#### ウ 学校関係者評価

校内の先生方で評価したものを参考に、学校運営協議会委員の皆さんからの評価と合わせて須賀委員長に学校関係者評価をまとめていただきたい。（副校長）

アの1	校内B	評議委員会B	（総合評価）
アの2	校内B	評議委員会B	（マナー、交通安全）
アの3	校内C	評議委員会C	（進路決定に向かう指導）
アの4	校内B	評議委員会A	（環境整備）
アの5	校内B	評議委員会A	（学年指導）
イの1	校内B	評議委員会A	（学習指導）
イの2	校内A	評議委員会A	（進路指導）
イの3	校内B	評議委員会B	（グローバル）

（林委員）イの3は、目標と評価が噛み合っていない。グローバル人材の育成＝英語

教育ではない。英語がベースではある。

⇒校長：ここが学校の弱いところの一つ。来年度検討していきたい。ずれがある。

イの4	校内B	評議委員会B	(図書)
イの5	校内B	評議委員会A	(授業改善)
ウの1	校内B	評議委員会A	(部活動)
ウの2	校内C	評議委員会B	(学校行事)
ウの3	校内A	評議委員会A	(広報活動)
エの1	校内A	評議委員会A	(総合的な探究の時間、進路探究)
エの2	校内B	評議委員会B	(模擬試験の活用)
オの1	校内A	評議委員会A	(学校事故の防止)
オの2	校内A	評議委員会A	(防災教育)
オの3	校内A	評議委員会A	(教育相談)
オの4	校内B	評議委員会B	(環境美化、充実)

(須賀委員) 全校生徒のロッカーが新品になった。生徒の机といすの更新は順次行っているということであるが、優先度が高いと思う。

カの1	校内A	評議委員会A	(年間行事予定)
-----	-----	--------	----------

⇒副校長：学校行事は気温や社会通念の変化に応じて必要な変更をしている。

カの2	校内A	評議委員会A	(部活動の計画的運営)
カの3	校内A	評議委員会A	(情報の一元化、組織的対応)
カの4	校内A	評議委員会A	(学校運営協議会の活用)
カの5	校内A	評議委員会A	(ICTの充実、活用)
カの6	校内A	評議委員会A	(効率的な業務の運用、設備)

校長：今年を踏まえて、来年度以降も改善を重ねていきたい。

#### (4) 意見交換 (司会：須賀委員長)

- ・ヘルメットの着用が義務化。自転車は軽車両であることを再認識させたい(高校生だけではないが)。言い続けていく必要がある。(金田委員)
- ・ICTなどを活用して、わかる授業を行えている。生徒のために引き続き努力いただきたい。(金田委員)

⇒校長：ヘルメットについては、ひとまず「所持」が義務で、「着用の義務化」ではないが、私も機会を捉えてヘルメットの有用性について伝えていきたい。学校近辺の交通マナーは比較的良好、挨拶もよくできている。

- ・小中学校では、ヘルメットが義務化しているか。(小栗委員)

⇒校長：義務化できている。

・長年近くに住んでいるが、生徒たちが非常に良い。文句の言いようがない。卒業生も訪ねてきてくれる。生徒から色紙をもらうことがあり、宝物である。生徒や教員との交流がうれしい。挨拶は常識、運動して押し付けるものではない。気持ちよく、知っている者同士が自然に交わすもの。情報端末は活用したいが、漢字が書けなくなる、視力

が低下するなどの弊害はないか？横断歩道が校門の正面すぎるので、動かすことも検討したい。（杉浦委員）

- ・大学入試の推薦合格は増えているか。（林委員）

⇒進路課長：増えている。機会も増えている。推薦で合格しておいて、本命に挑戦する者もいる。

- ・保護者アンケートで学校の方針などを伝えているという点で評価が低かった。一方で、学校の状況が伝わっていることが評価されている。うまく機能させたい。（富室委員）

- ・「浜松市への政策提言」は行政に提案しに行くのか。（小栗委員）

⇒副校長：今年度、初めて市議会議員が本校での発表会に聞きに来てくれた。また、先週行われた座談会でも市議会議員が12名きてくださり、内容の深堀りもできた。

⇒校長：見に来てくださった議員さんには伝わった。これまでは校内で完結していた。

- ・浜松市商工会議所では議会に提出していた。反映されているかは検証できていないが。せっかく提言するなら、市長、教育長に提言できるとよい。（小栗委員）

- ・先生方が細かく手をかけてくれているので、生徒は安心して学校生活を送れているし、保護者も信頼して通わせている。探究やICTを活用して、考え意見をまとめる機会を創出してくれているが、昔ながらの手を使い、書物に当たる学びのスタイルも大切にしたい。（須賀委員長）

#### (5) その他

- ・この後の政策提言発表会の見学について

- ・来年度の予定